

2012年6月13日  
 エプソンアトミックス株式会社  
 セイコーエプソン株式会社

**新工場「エプソンアトミックス 北インター事業所」の建設を開始**  
 ～ 微細合金粉末の生産能力を3倍に増強 ～



エプソンアトミックス 北インター事業所(イメージ)

セイコーエプソン株式会社(本社:長野県諏訪市 社長:碓井 稔)のグループ会社で、微細合金粉末の製造において世界シェア No.1※のエプソンアトミックス株式会社(本社:青森県八戸市 社長:赤羽 史明、以下エプソンアトミックス)は、このたび、八戸北インター工業団地(青森県八戸市)において新工場建設を開始しました。

また、新工場の名称は「エプソンアトミックス 北インター事業所」に決定しました。

エプソンアトミックスは、約 32 億円の投資を行ってこの新工場を建設し、スマートフォンなどの高機能モバイル機器、自動車、医療機器などの市場拡大に対応するために、それらの部品の原材料として使用される微細合金粉末の生産能力を、現在の約 3 倍にあたる年間約 1 万トンまで増強します。なお、新工場の稼働は 2013 年度下期を予定しています。

■新工場概要

名称	エプソンアトミックス 北インター事業所
所在地	青森県八戸市北インター工業団地 2 丁目
投資金額	約 32 億円
生産品目	微細合金粉末(磁性粉末、MIM 用粉末)
工場稼働	2013 年度下期予定
工場面積	敷地:20,500 m <sup>2</sup> 、建物:約 3,300 m <sup>2</sup>
従業員数	約 40 名(2013 年度稼働時予定)

エプソンアトミックスは、独自の金属粉末製造技術を強みとし、今後も常にお客様の視点で商品・サービスの品質を最優先に考え、品質第一に徹し、お客様に喜ばれ、信頼される商品・サービスを創り続けてまいります。

※微細合金粉末の 2011 年度金額ベースにおける市場シェア(2012 年 4 月、エプソンアトミックス調べ)

■エプソンアトミックス 会社概要

会社名	エプソンアトミックス株式会社
所在地	〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字海岸 4-44
代表取締役社長	赤羽 史明
操業開始	1999年10月1日
従業員数	約280名
資本金	4億5千万円 ※セイコーエプソン株式会社100%出資
事業内容	金属粉末、金属射出成形部品、人工水晶原石の開発、製造、販売

詳細はエプソンアトミックスのホームページ(<http://www.atmix.co.jp>)をご参照ください。

エプソンアトミックスの新工場で生産する微細合金粉末(磁性粉末、MIM用粉末)の詳細は、別紙をご参照ください。

以上

## 【別紙】

### ■エプソンアトミックスの微細合金粉末

エプソンアトミックスの微細合金粉末は、その原材料・用途により、主に磁性粉末とMIM(Metal Injection Molding)<sup>(\*1)</sup>用粉末の2種類に分けられます。エプソンアトミックスは、高周波炉により溶解した金属に高圧水を当てて霧状に飛散させ、それを急速冷却させる高圧水アトマイズ法<sup>(\*2)</sup>に独自の工夫を加え、ミクロン単位という微細サイズであり且つ成分・特性が均一で安定した微細合金粉末を提供しています。

磁気特性を持った磁性粉末は、スマートフォン、ノートパソコンなど高機能モバイル機器の電圧を制御するために必要なインダクター、チョークコイル、リアクトルなどの電子部品の原材料として使用されています。中でもエプソンアトミックスの磁性粉末は、粒子の微細化技術によってエネルギー損失を抑制し、電圧制御部品の低消費電力・小型化、高周波・大電流対応に大きく貢献しています。世界的に成長を続けているモバイル機器市場だけでなく、新たな材料用途として自動車産業や省エネ産業などからも高い注目を集めており、今後さらなる市場拡大が見込まれています。

MIM用粉末は、複雑な形状でありながら高精度・高強度が求められる、医療用特殊機器や自動車エンジン用などの金属射出成形部品の原材料として使用されています。エプソンアトミックスのMIM用粉末は、ステンレス鋼や低合金鋼などさまざまなラインアップをそろえ、さらには用途に応じて粉末の粒径を調整できるため、金属射出成形部品の強度向上などに寄与しています。医療、自動車産業などの市場成長に伴い、今後も安定した需要が見込まれています。

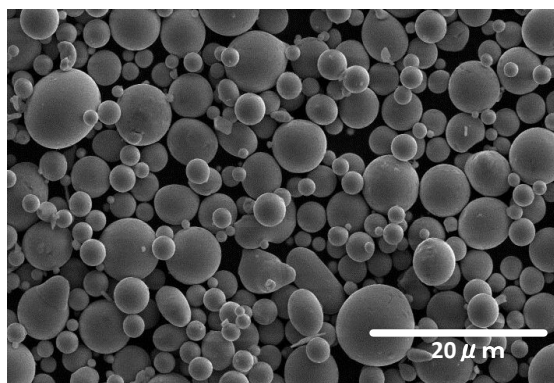
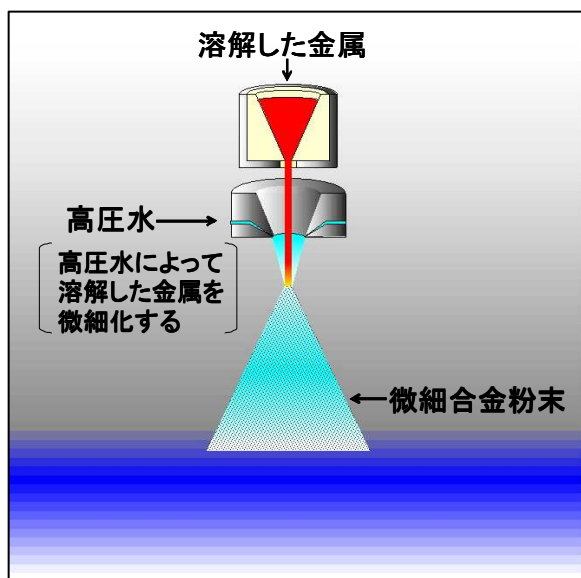
## 【用語説明】

(\*1)MIM(Metal Injection Molding)

射出成形と粉末冶金の特徴を併せ持った最新の金属加工方法。MIMにより、微細合金粉末を高精度・高密度・高強度のさまざまな形状をした部品に加工することが可能。

(\*2)高圧水アトマイズ法

微細合金粉末の製造方法の一つ。高周波炉により溶解した金属を高圧水によって微細化し、それを急速冷却させ、微細合金粉末を製造する。



微細合金粉末の拡大写真